

コープみらいと自治体との「高齢者見守り協定」等が 千葉県、埼玉県、東京都の100自治体に達しました

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：田井 修司、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、12月25日（木）、千葉県山武郡芝山町と「高齢者の見守りに関する協定」を締結しました。これにより、コープみらい事業エリア（千葉県・埼玉県・東京都）の自治体との見守り協定の締結、あるいは見守りネットワークへの参加等は全179自治体のうちの100自治体となり、締結率は約56%に達しました。

コープみらいでは、日頃から宅配サービスや店舗での業務中に、職員が高齢者などの異変に気付いた場合、救護や行政、地域包括支援センターなどへの連絡など必要な処置を行っています。

特に毎週約110万人にご利用いただいている宅配サービス「コープデリ」においては、同じ担当者が決まった時間に地域を回り、組合員の自宅まで商品を届けるという特徴から、異変を発見する機会が多くあります。また、「コープデリ」の中でも平日に毎日配達する「コープデリの夕食宅配」では、さらに多くの異変を発見しています。2014年4月～12月までに「コープデリ」や店舗等での救護や連絡・通報は、70件にのぼりました。これは、昨年同月比2.7倍の件数となります。

コープみらいでは今後も、見守り活動に積極的に参加し、地域に密着した事業や活動を広げてまいります。

事業エリア別「高齢者見守り協定」等、締結自治体数および締結率

	自治体数	協定締結自治体数	締結率
千葉県	54	43	79.6%
埼玉県	63	31	49.2%
東京都	62	26	41.9%
合計	179	100	55.8%

(2014年12月25日現在)



夕食宅配の配達(イメージ)

●宅配での主な対応例

- ・いつも在宅の組合員（高齢男性）が、インターホンを鳴らしても反応がなく、電気もついていなかったため、異変を感じ協定を締結している地域包括支援センターに連絡しました。後日、男性は入院のため不在であることがわかりました。
- ・配達職員が宅配センターに帰る途中、雨の中で座り込んでいる高齢者を発見。事情を聞いて警察に連絡し、無事保護されました。

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】田井 修司(たい しゅうじ)

【組合員数】311万人(2014年11月20日現在)

【総事業高】3,629億円(2013年度)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>